

高 岐 高 校 よ り

第159号

令和7年5月9日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長 伊藤 知子
印刷/ヨツハシ(株)
題字/筑間 敏博

CONTENTS

● 百五十二年目の春に ● 多様性と希望を胸に ～新たな時代のPTAへ～	学 校 長………… p1
● 第十四回科学の甲子園全国大会	PTA会長………… p2
● 豊かな人間力の育成をめざして	進路指導部………… p2
● 成長を実感できる一年にしよう	生徒指導部………… p3
● 令和7年度 進路指導計画	進路指導部………… p4
● 令和7年度 主な大学入試結果	進路指導部………… p4
● 令和7年度大学入試 合格者たちの声	進路指導部………… p5
● 海外研修A(アメリカ)報告	…………… p5～p6
● 海外研修B(マレーシア・ポルネオ)報告	進路指導部………… p6
● 各年次団紹介	進路指導部………… p6
● 6・7月行事予定	…………… p7
● 部活動だより 部活加入一覧	教 務 部………… p8
● 令和7年度 教職員人事異動	特別活動部………… p8
	…………… p8



▲入学式 新入生総代



▲対面式・生徒会長と新入生代表



▲始業式

百五十二年目の春に



学 校 長
小野 悟

今回の人事異動により、今年度より本校に赴任いたしました校長の小野悟と申します。本校には、平成二十五年度に一年間教頭として勤務していましたので、十一年ぶりの勤務になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

四月八日に、柔らかな春の日差しの中、令和七年度岐阜高校入学式を挙行し、三百六十一名の新入生をお迎えすることができました。新入生の保護者並びにご家族の皆様、改めまして、ご入学、誠におめでとうございます。

さて、四月八日は、入学式で新入生に対して、始業式では、二年次生、三年次生に対して、高校生活において大切にしたいことを三つ話しました。

一つ目は、「お互いを尊重・尊敬することをいつも忘れないで欲しい」ということです。

私たちが暮らしている社会は、様々な人がいることによって成り立ち、多様な関係性に支えられ私たちは生きています。そうした社会の中で生きていく際に一番大切なのは、お互いを一人の人格として認めること、そして、それに裏付けられた言葉遣いと挨拶であると思います。人間関係の最も基本といえるこのことを、まず何より大切にしたいという思いを伝えました。

二つ目は、「失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦をして欲しい」ということです。いろいろなことに挑戦し、本気で取り組め

ば取り組むほど、壁にぶち当たったり、失敗したりもします。しかし、そうした困難と真正面に向き合うからこそ人間として成長もするし、一生付き合える友人もできるのだと思います。岐阜高校での三年間は、何かのために何かをあきらめたり、何かをセーブしたりすることなく、勉強、部活動、学校行事、少なくともこの三つに本気で取り組みることにより人間としての魅力を育てて欲しいという思いを伝えました。

三つ目は、「この岐阜高校で、世界のどこかを支える人間としての基礎を作って欲しい」ということです。

世界は今、エネルギー問題、環境問題、人口減少の問題、疫病の問題等、解決すべき問題を数多く抱えています。そして、その解決のための正解はどこにも書いてはなく、私たちは過去の先人たちと同様に、これらを解決し、道を切り拓いていかなければなりません。そのために、この岐阜高校で深く広く学ぶことにより、自らが支える場所を見つけるとともに、支えることのできる力を伸ばして欲しい。そして、高校卒業後の進路を実現するための勉強だけでなく、広く社会に関心の幅を広げ、それらについて自分自身の頭で考えることも大切にして欲しいという思いを伝えました。

生徒の皆さんには、ここ岐阜高校で自らの世界を大きく広げるとともに、心の導火線に火をつけること、そして一生付き合っていける友人ができることを心より期待しており、そのための最大限の支援をしていきたいと思っています。

保護者の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

多様性と希望を胸に

新たな時代のPTAへ



PTA会長
伊藤 知子

去る四月二十五日の総会におきまして、PTA会長にご承認頂きました伊藤知子と申します。未熟な点多々ございますが、役員の皆さまと力を合わせ、誠実に努めてまいります。一年間宜しくお願い申し上げます。私自身卒業生としてこの学び舎で過ごした日は、知を深め、心を耕し、人との出会いを通して人生の礎を育んだ、かけがえない時間でした。小中学校においてはPTAの経験はございませんが、母校への深い感謝の思いと、子どもたちが豊かな高校生活を謳歌してほしいと願う気持ちから、このたび会長職を引き受けいたしました。

また長い歴史と伝統を誇る本校において女性として初めて会長職を担うことになったと伺い、大変光栄ではございますが驚きとプレッシャーを感じたことを覚えております。ただある生徒からは「性別という枠に捉われて注目されること自体、今の時代にはそぐわないのではないかと」と、真っ直ぐな眼差しで語られたことがあります。私はその言葉に、次代を生きる若者たちが、すでに多様な価値観を自然に受け入れていると感じ、大きな

希望と心強さを覚えしました。

こうした気づきの中で、PTAの在り方もまた、時代の変化に対してしなやかであるべきだと感じております。普遍的な理念を胸に刻みつつ、保護者同士も学び合い、対話を重ね、新たな視点を取り入れていくことで、より実りある活動へと育てていくのではないのでしょうか。

この岐阜高校には自らの意志で学び、未来を切り拓こうとする生徒たちが集っています。その姿勢は、私たち大人が忘れてかけていた純粋な志や希望を思い出させてくれます。また他者を讃える強さと、共に歩むことの美しさもあり、私は静かな感動も覚えております。一方で、保護者としては目に見える成果や結果に心を揺さぶられることもあるのが、正直な感情です。ある先輩保護者の方が「焦らず、先回りせず、問いすぎず。ただ子どもを信じて、そつと見守ることが、最大の支えとなる」とお話しくださったことがあり、その言葉は私の心に息づいています。

私自身も、PTAという場を通じて、子どもたちが安心して学び、自らの可能性を存分に花開かせていけるよう、微力ながら邁進して参ります。そして、保護者の皆さまと手を取り合い、学び合い、支え合いながら、心豊かな一年を共に歩んでまいりたく存じます。

今後ともどうぞ、温かなご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第十四回 科学の甲子園 全国大会

三月二十一～二十四日に開催された、科学の甲子園全国大会に、出場しました。この大会には第一回から十四年連続で県代表として出場しています。

参加を希望する生徒は、年度当初より校内での学習会を重ね大会に臨みました。夏休みには、隣接する他県の高校生との合同学習会にも参加し、意見交流などの貴重な体験ができました。その後も学習会を重ね、十一月に行われた県予選に臨み、この予選での優勝を受け、チームを再編成し全国大会に向け準備を始めました。

代表チームのメンバーは何れも二年次生の、佐藤孝俊、神崎大雅、藤田盛太郎、近藤隆貴、辻内凜、金子小次郎、川合健太、齋藤太一の八名で、つくば市の会場で行われた大会に参加しました。全国大会は、「筆記競技」と「物理・実験競技」、「生物・実験競技」、「事前公開の実技競技」が行われ、それぞれ



の得点の合計で順位が決められます。代表生徒は、それぞれの部活動などの傍ら、個々の能力と共にチームワークを磨き大会に臨みました。

年々参加校のレベルが上がってきている中で、筆記競技で6位、生物・実験競技で6位の成績を残しましたが、総合成績での上位入賞は成りませんでした。全国大会に参加した生徒だけでなく、学習会や県予選に参加した生徒も含め、大会に向け取り組んだ貴重な経験を、今後の活動で生かしてほしいと思います。後輩の皆さんは、第十五回大会での総合優勝を目指し、今後の学習会に参加してみてください。



豊かな人間力の育成をめざして

生徒指導部

生成AIが私たちの生活の身近な存在になり、社会において必要とされる力が大きく変化する一方で、他者と協働しながら、新たなものを生み出す力は不変のものではないでしょうか。生徒には高い学力のみならず、耐性ある粘り強さ、そして一念のこだわりを持ち続けられる人間力を岐阜高校での学校生活を通して身に付けて欲しいものです。

令和7年度も岐阜高校では、生徒の皆さんが「自己」そして「生命」を大切に、安全で充実した「マナー」ある高校生活を送るために、全職員でさまざまな活動や指導、支援を行ってまいります。

保護者の皆様も、何かご心配なことがあれば、正副担任や年次主任、あるいは教育相談係まで、お気軽にご相談ください。生徒の皆さんが日々元気に過ごし、自らの目標に向けて切磋琢磨し、社会で活躍する大人へと成長していくため、今後とも家庭と学校との連携・協力をよろしく願います。

【令和7年度 生徒指導部の重点】

- (1) 自他の生命を大切にするための活動と人権教育の推進
- (2) 「情報モラル」教育の徹底
- (3) 教育相談活動および個に応じた支援の充実

【生徒指導関係の行事・活動】

- 担任との懇談週間 四・八・十月
- 情報モラル講話 四月
- フレパリン検査・i-check 五月

●命の尊さ講話 六月

●薬物乱用防止講話 十月

●心のアンケート 五・八・十一・二月

●いじめアンケート 六・十一・月

●校内迷惑調査 六・十月

●全校交通安全指導 四・十月

●校門・交差点 交通安全指導 毎日

●生活委員によるMSリーダーズ活動

●交通安全指導・環境美化活動など

●スクールカウンセリング 毎月

生徒指導部からお願い

以下の点について、保護者の方のご理解、ご協力をお願いします。

① 基本的な生活習慣の確立

規則正しい生活習慣が、高校生活の大切な土台となります。起床・就寝・食事・学習の時間を固定することは、学力を伸ばす点でも非常に効果的です。何より学校を休まない、ということが卒業後の進路に大きな影響を与えます。

② 交通ルールを守り、安全に登下校を

余裕を持って登下校
予鈴（8時25分）までに教室へ入室完了し、帰日も決して慌てることがないようにご注意ください。

◇ 自家用車での送迎について

学校周辺の道路や民家の前、私有地などで乗降しないようお願いいたします。ケガ等で送迎が必要な場合は入構

許可証を発行しますので、担任に申し出てください。

◇ 交通ルールの遵守

交差点、丁字路での自動車との接触事故が多発しています。自転車同士の事故や歩行者との事故で加害者となったケースもあります。交通ルールを遵守するとともに「命を守る」ため積極的なヘルメット着用をお願いします。

◇ 「自転車安全利用五則」

「緊急時の対応」カードの携帯



③ 情報端末・SNSの適切な利用

教育活動で情報端末を活用する機会が増える一方、SNSなどへの自他の個人情報や、他人への誹謗中傷といった不適切な書き込み等起因するトラブルが多発しています。また、「闇バイト」などSNSを利用した犯罪に巻き込まれることがないように、ご家庭でも情報端末の使用について話し合い、ルールを決めるなど、お子様任せにせず、定期的に使用状況のご確認をお願いします。

教育相談係より



穏やかな春の日差しの中で行われた始業式や入学式から、早くも約一か月が過ぎ、今では新緑が眩しい季節となりました。

一年次生は、慣れない通学や高校の学習スタイルへの適応に、緊張の日々を送ってきたことと思います。また、上級生も新年度のスタートで学習や人間関係のストレスを抱えているかもしれません。五月の連休明けは、「五月病」が出やすい時期です。心身に疲れを感じ、何もやる気が起らない状態になることがあります。これは誰にでも起こりうる自然な反応です。まずは規則正しい生活と十分な睡眠で、身体の機能を回復させましょう。ご家庭では、焦る気持ちや弱音を聞いてあげてください。本人が心身ともにリラックスできる雰囲気を作っていただけると、それだけで次へ向かうエネルギーを養うことができます。

学校では、年に十数回スクールカウンセラーに來校していただき、生徒が悩みを相談できる機会を設けています。学校と家庭の連携を密にし、悩みが深刻になる前に早期に対応したいと思っています。ご心配なことがございましたら、教育相談室までご連絡ください。

教育相談係

【教育相談室・特別支援教育コーディネーター】

前田博子・遠藤久美子

小林里恵・高瀬智子

【スクール相談員】

大橋聡子

【保健室】

日置雅子・早藤麻由美

成長を実感できる一年にしよう

進路指導部

新年度が始まり、皆さんは新しいクラス、新しい環境に馴染んだ頃でしょうか。早いもので始業式・入学式から既に一ヶ月過ぎました。この春の卒業生も、第一志望の大学進学を目指し、最後まで粘り強く努力する姿を見せてくれました。部活動でも、岐高祭などの学校行事でも、常に全力で取り組む姿を見せてくれた先輩たちです。後輩諸君もぜひ先輩たちの後ろ姿を手本とし、先輩達以上の成果を残せるよう一杯取り組んでほしいと思います。

三年次生は、大学受験が少しずつ近づいていることを実感しはじめていることでしょう。昨年度より、自らの現状をふりかえり、課題を確認し、その課題を克服するための方法を自ら考え、学習に取り組む習慣をつけてきました。目標をしっかりと定め、その目標に向かって最後まで粘り強く突き進む一年にしましょう。日々の努力の積み重ねが、やがて自信に変わっていくはずです。この一年、大学受験という経験を通して人間的にも大きく成長してください。

二年次生は、岐高での学びが本格的になるこの一年を通して、自分の進路について知識や考えをさらに深めてください。本校で行われる、「グローバルリーダー養成事業」へ積極的に参加し、新たな考えや価値観を取り入れ、進路選択の一助にしてください。また、総合的な探究の時間では、「課題探究活

動」に取り組めます。一年次で取り組んだものよりも、更に充実したものとなるよう取り組んでください。より深い探究を通して、皆さんは大きく成長することと思います。

●新入生の皆さんへ

新入生の皆さんは、これから始まる三年間の高校生活に期待と不安を抱いて入学してきたことかと思えます。高校では中学校と比べ、一日の学習量が格段に増えます。予習・復習で精一杯という人も多いでしょう。今までのやり方では上手くいかない場合もあります。教科担任の先生の話をともに、高校生としての勉強方法と学習習慣を確立してください。本校では「PSセミナー」や「大学学問研究」などの取り組みが、総合的な探究の時間で用意されています。また、「グローバルリーダー養成事業」では、様々な分野で活躍される講師の話を間近で聴き、質問することもできます。大いに活用して視野を広げてください。進路希望を確立しつつ、充実した高校生活を送ることを期待しています。

今年は、創立一五一年目を迎えます。これまでの一五〇年以上にわたる岐阜高校の歴史と伝統の上に、皆さんの力で、新たな歴史の一ページを刻みましょう。日々皆さんを応援してください。何事にも全力で取り組んでください。

令和7年度 進路指導計画

(4月22日現在)

月	1年次生	2年次生	3年次生
4	PTA総会・学級懇談会(25)	年次集会「進路について」(17) PTA総会・学級懇談会(25)	PTA総会・学級懇談会(25)
5	年次集会「科目選択」(15)	第1回校内実力テスト(7) 年次集会「科目選択」(8)	第1回校内実力テスト(7,8) 年次集会「大学入試スケジュール」(8) 進研共通テスト模試(23,24)
6	進路意識調査(16)	進路意識調査(18)	駿台全国模試(1)希望者 PTフォーラム(6) 進路意識調査(17) 医学部ガイダンス(27)
7	進研記述模試(5) 保護者懇談会(10~16)	進研記述模試(5) 保護者懇談会(10~16) 夏季補習(18~25)	進研記述模試(6) 保護者懇談会(10~16) 夏季補習(18~25) 全統共通テスト模試(27) [公開会場]
8	ジョイントセミナーat東大(5,6)	第2回校内実力テスト(25,26)	全統記述模試(16) [公開会場] 第2回校内実力テスト(25,26)
9	医学部ガイダンス(12) 進路適性検査[R-CAP](16) PTフォーラム(25) 進路意識調査(30)	「卒業生と語る会Ⅰ」(9) PTフォーラム(24)	年次集会「共通テスト説明会」(11)
10	年次集会「科目選択」(9) 第1回校内実力テスト(15,16) 駿台全国模試(19) [公開会場] 希望者	進路意識調査(2) 駿台全国模試(5) [公開会場] 希望者 年次集会「進路、科目選択」(23)	進路希望調査(1) 全統記述模試(5) [公開会場] 第3回校内実力テスト(15,16) 全統共通テスト模試(19) [公開会場]
11	進研記述模試(1)	進研記述模試(1)	年次集会「進路について」(13)
12	保護者懇談会(17~23)	保護者懇談会(17~23)	共通テスト特編①(15,16) 保護者懇談会(17~23)
1	進研記述模試(17) 第2回校内実力テスト(27)	第3回校内実力テスト(27,28)	共通テスト特編②(7,8) 共通テスト特編③(13,14) 年次集会「共通テスト諸注意」(16) 大学入学共通テスト(17,18) 大学入学共通テスト自己採点(19) 特編授業・午後補習(1/20~2/6) 個別懇談会(26~28) (希望者)
2	駿台全国模試(15) [公開会場] 希望者	年次集会「進路、各教科」(5) 駿台全国模試(8)	自宅学習期間 入試特講(9~20) 国公立二次試験前期(25~)
3	「卒業生と語る会Ⅱ」(25)	全統共通テスト模試(未定) [公開会場] 希望者 「卒業生と語る会Ⅱ」(25)	国公立二次試験中期(8~) 国公立二次試験後期(12~)

令和7年度 主な大学入試結果

※合格者は延べ数・過年度卒業生も含む

国公立大学	現・過合格数
北海道大	12
東北大	2
筑波大	6
千葉大	4
東京大	15
東京外大	2
一橋大	1
横浜国立大	5
富山大	2
金沢大	3
岐阜大	34
静岡大	3
名古屋大	37
名古屋工大	16

国公立大学	現・過合格数
京都大	21
大阪大	10
神戸大	9
広島大	5
九州大	5
岐阜大	11
名古屋市立大	12
国公立計	263

私立大学	現・過合格数
青山学院大	14
慶應義塾大	32
上智大	9
中央大	33

私立大学	現・過合格数
東京理大	61
法政大	13
明治大	47
早稲田大	39
南山大	48
同志社大	108
立命館大	121
私立計	791

医学部医学科	現・過合格数
国公立大学	39
自治医大	3
私立大	24
医学部計	66

文武両道達成への道

第一志望の大学に合格できたのには、二つの理由があると思います。

一つ目は、勉強習慣や勉強環境を確立したこと。僕は部活や学校が終わった後に自宅で勉強することができないので、一年次生の秋から塾に通っていました。一年次生から二年次生の秋までは部活で疲れた日は帰宅し、勉強時間がほとんどない時も時々ありました。しかし、二年次生の冬から筑波大学を志望してからはどんなに疲れていても一時間という短い時間でも勉強に取り組みようと塾に毎日通い出したことで、部活を引退した後でも毎日勉強することに苦しみことなく、勉強時間を増やすことができたと思います。

二つ目は、後悔なく部活動をやり切ったことです。部活の練習は厳しくつらいものではありましたが、その練習を二年半耐え抜いたことで、受験期に多くの人が直面する成績が伸び悩む時期も粘り強く自分の学習と向き合うことができ、一発勝負で多くのプレッシャーを感じる受験本番も自信をもって臨むことができました。また、ともに二年半部活に取り組んだ仲間が苦しい受験期を一緒に乗り越える頼もしい仲間であり、部活では互いの技術などを高め合い、引退後は勉強面で励まされ、刺激を受けられる貴重な仲間でした。部活動と勉強を両立している人に僕が伝えたいことは、高校生活で部活動に熱中できるのは限りある時間のみです。きつと部活動をやり切れた人は引退後、スムーズに本格的な受験勉強に移行でき、受験勉強も最後まで粘り強く頑張れると思います。なので、ぜひ引退する際に後悔よりも「やり切った」という達成感を抱けるぐらい部活動に熱中してください。受験に向かう人の中には受験に対してマインドイメージを持つ人もいます。

令和7年度大学入試 合格者たちの声

今春の大学入試合格者たちの声を掲載します。詳しくは「合格体験記」として、6月に発行予定の「進路の葉」に掲載しますので、ご覧ください。

しかし、考え方を変わると多くの人に今後の自分の人生を自分で決められる機会が与えられていると考えることができ、こんな機会は社会に出てからはきつくないと思います。また、多くの緊張を感じながら勉強することも人生でそうないことだと思えます。僕は受験期で苦しくなったときにはこのように考え方でマイナスをプラスに転換することで少しは気持ちを楽にすることができました。考え次第で自分を苦しめることも楽しむことも可能です。

最後に、岐高生の皆さんには自分では把握しきれないほどの才能があります。その才能を開花させ、高校生活を充実したものとし、志望校に合格できることを祈っています。応援しています。

大学受験を終えて

これから受験を迎える皆さんに大事にしてほしいことは、絶対に諦めないことです。岐高の先生方がよく、「諦めたら受からない、諦めなければ必ず伸びる」と言われるのを聞いて、そうはいっても現実をみて受かることを受けないといけない、とよく思っていました。自分が受験を終えてみると諦めなくて本当に良かったと思います。私は秋の全統でE判定をとり、冠模試もC判定とD判定だったので、十二月の初め頃に志望校を変えようと思って先生に相談しました。先生方に引き止めていただき、自分でももう一度考え、親とも相談して、共テまで頑張ってみて決めようということになりました。ただ、二次試験の勉強に追われて共テ対策があまりできていなかったこともあり、心のなかではとても不安でした。しかし無理かもしれないと思っていました。しかし共テ本番で九割を超え、残り一ヶ月ほど東大に向けて頑張るしかない

とやつと覚悟が決まると、諦めなくて良かったと思いました。受験勉強は本当に不安になることも多いですが、自分で思うよりも成長しているし、試験ギリギリまで実力は伸ばせると思います。模試の結果や成績に悩まされすぎず、先生方のアドバイスを聞き、自分を信じてみてください。これから受験勉強と闘う皆さんが前を向いて進めることを願います。

失敗と挽回について

仲間との絆について

誰にでも失敗はあります。私は、一年次生早タスタートダッシュを失敗してしまいました。しかしながらここでよくよく考えても仕方ありません。その失敗を次に活かす、そんな行動が必要です。私の場合、失敗の原因が生活習慣にあることは明らかであったため、早寝早起きを習慣づけるためのルールを作り、意識の改善を図りました。

このように、原因を特定し、対処の方法を自分で考えて実行する、いわゆるPDCAサイクルによって、失敗を失敗のままにせず、新たな学びとして自分の糧にしておくこと、転んでもただでは起きぬの精神が大切だと高校生活を通して感じました。

受験勉強において仲間の存在は私の大きな助けになりました。放課後教室に集まって共に問題を解き、よくわからないところは質問し、質問されたところは自分の知識の再確認もかねて教える。一人一人得意科目や苦手科目があったとしても、集まればお互いの苦手をカバーできますし、一人ではわからないところがあっても、三人寄れば文殊の知恵というように、仲間と一緒にあれば解決できるかもしれません。また、

仲間とは協力するだけでなく対決すること
もできます。互いに問題を出し合ったり、
模試の成績を比べたり……。このような対決
の中で互いに切磋琢磨し成長することがで
きます。

バタフライエフェクト

皆さんは今、県下有数の進学実績を誇る
伝統ある岐阜高校で学んでいます。それ
はなぜですか？皆さんが学力的に優れてい
たからでしょうか。周囲に賞賛されるよう
な善い行いを積んできたからでしょうか。
皆さんそれぞれに答えがあると思いますが、
私の答えは「単に運が良かったから」です。
これは、試験問題の相性がたまたま良かつ
たとか、本番の体調が良かったとかいう話
ではありません。

現在の社会は、「すべての人に平等な機
会が与えられているのだから、それを生か
すも殺すもその人次第」という考えのもとで
個人を評価する能力主義（メリトクラシー）
を採用しています。しかし、その前提は果
たして正しいのでしょうか。世の中には、
色々な事情により大学進学を諦めざるを得
なかったり、そもそも高校に進学すること
すら叶わない人もいます。我々の人生は自
身の生地や生まれ育った家庭とその状況に
大きく左右されるのです。そしてそれらは
自身では決して抗えない、ある種の「偶然」
です。さらに、過去に出会った人や学んだ
環境、過去の自身の選択にも、我々の現在
は大きく影響されます。「もしもあの時、別
の参考書を使っていたら」「もしもあの時、
あの先生に出会っていなかったら」。とし
て、「もしも、別の親の元に生まれていた
ら」。過去のとある瞬間が少し違っていただ
けで、現在は大きく異なっていたかもしれ
ないのです。我々の現在はいったい数多
くの偶然が積み重なった過去により規定さ
れ、我々の生き方を決定しています。その

点で私は、自分の好きなように努力できる
環境と、自分の挑戦を惜しみなく応援して
くれる家族という存在に恵まれていたから、
東京大学に合格できたのだと考えています。
皆さんが高校入試を突破できたのも、その
ような環境に恵まれていたからこそ、試験
時間の最後の一秒まで頑張れたからではな
いでしょうか。

一方で、いくら過去の偶然を振り返り、
それに一喜一憂したとて何も生まれません。
そこで、このように考えることもできるの
ではないでしょうか。「現在」が、偶然の積
み重ねで形成された「過去」により規定され
ているのならば、我々の「未来」を大きく変
えられるのも「現在」の偶然である、と。小
さな一匹の蝶の羽ばたきが遠く離れた地で
竜巻を巻き起こし、ひとりひとりのさや
かな営みの連鎖のちに世界の歴史を大き
く動かすように、我々の無限の可能性を秘
めた「未来」を大きく変えられるのも「現在」
を生きる自分自身の小さな勇氣、小さな一
歩なのです。

大学受験という人生において大きな挑戦
をするに当たり、数えきれないほど多くの
方々にお世話になりました。どんなにくだ
らない無謀なことも一緒に笑って楽しんで
くれた友人達、その私たちを温かく見守っ
てくださった多くの先生方、そして、私の
挑戦を常に支え励ましてくれた家族には感
謝の念で一杯です。本当にありがとうございました。



海外研修A (アメリカ)



三月九日から十八日までアメリカ研修を実
施し、一・二年度生の希望者四十名が参加した。

【研修一日目】三月十日

●サンディエゴ州立大学を訪問

ネイティブアメリカンの歴史と現在の文化
的活動についての講義を受けた。

●OCTOWN散策

●フードバンクにて施設見学

【研修二日目】三月十一日

●カリフォルニア大学サンディエゴ校を訪問

エネルギー問題についての講義を受け、大
学生との交流とキャンパスツアーを行った。

●大学生とのグループワーク

学生達と、自分たちの身近な社会問題の解決
策について考え、プレゼン資料を作成した。

【研修三日目】三月十二日

●気候変動についての講義

●大学生とのグループワーク

【研修四日目】三月十三日

●大学生とのグループワーク最終発表

これまでのグループワークの成果を発表した。

【研修五日目】三月十四日

●Canyon Crest Academy (CCA) 訪問

公立高校を訪問し、授業見学と現地の高校生との交流を行った。

【研修六・七日目】三月十五・十六日

●ホストファミリーとの交流



海外研修B (マレーシア・ボルネオ)



三月九〜十七日の九日間、マレーシア・ボ
ルネオ島での研修を実施しました。参加者は
希望した一・二年度生の三四名でした。

●現地での文化交流

「イナナム・セカンダリススクール」、「マレー
シア国立サバ大学」、バトゥパティ村を訪問
し現地の人々と交流を深めました。また、
環境保護と経済発展の両立についての講義
を聴き、大学生とのグループワークをまと
め発表しました。

●自然環境の観察

昆虫博物館やライトトラップで、日本では
見られない昆虫を多数観察しました。また、
熱帯雨林のキャノピウォークやリバーワ
ルズ、ナイトウォークをして、豊かな自
然の中で生息する貴重な動植物を観察しま
した。絶滅の危機にある生物も見ることが
でき、プランテーションの開発で生息地を
奪われている動物たちを守る活動として、
植林活動の体験もしました。

●パーム椰子農園とパーム油搾油工場の見学

世界のパーム油の需要の八割をまかなうと
言われる現地の大規模プランテーションを
見学しました。見渡す限りの整然と植えら
れたパーム椰子の農園で、収穫の体験をし
ました。その後、収穫された椰子の実から
油を絞り、精製する工場の見学をしました。
大規模プランテーションでは環境破壊への
批判も多いため、企業と
して環境負荷を減らす取
り組みや、失われた自然
を取り戻す取り組みなど
の説明を受けました。

研修全体を通して、日本
での我々の豊かな生活が、
遠く離れた地域での自然環
境の破壊の一因になること
を体験し、大変貴重な学び
となりました。



各年次団紹介

1 年次団



◎年次主任 ○副年次主任

【後列右から】		【前列右から】	
1組副担任	北川真珠子 (国語)	1組担任	筑間 敏博 (芸術)
2組副担任	折山 真生 (地歴・公民)	2組担任	青谷 勇佑 (数学)
3組副担任	今井 順也 (保健体育)	3組担任	岸本 真里 (英語)
4組副担任	阿部希空衣 (芸術)	4組担任	澤田 宏 (国語)
5組副担任	坂田 瞬 (数学)	5組担任	木野村 淳子 (英語)
6組副担任	鈴木 規比 (理科)	年次主任	◎塩澤 一樹 (数学)
7組副担任	太田 晶子 (理科)	6組担任	○各務 なつみ (国語)
8組副担任	小林 里恵 (家庭)	7組担任	武藤 恒平 (英語)
9組副担任	川村 謙二 (地歴・公民)	8組担任	井深 克憲 (数学)
年次所属	平野 弘 (英語)	9組担任	柘植 望 (保健体育)
年次所属	谷口 輝己 (芸術)		

2 年次団

◎年次主任 ○副年次主任

【後列右から】		【前列右から】	
年次所属	前田 博子 (英語)	1組担任	山崎 友梨 (数学)
年次所属	白木 聖美 (英語)	2組担任	伊藤 誠人 (理科)
1組副担任	古川 真哉 (国語)	3組担任	岩井 恭平 (保健体育)
2組副担任	水谷 圭佑 (地歴・公民)	4組担任	田口 宗右郎 (地歴・公民)
3組副担任	八代 周士 (数学)	5組担任	五島 興 (英語)
4組副担任	松井 裕子 (国語)	年次主任	◎瀬川 雄一郎 (理科)
5組副担任	伊藤 拓磨 (情報)	6組担任	○古橋 康次郎 (数学)
6組副担任	遠藤 久美子 (理科)	7組担任	森本 英語 (英語)
7組副担任	鈴木 裕貴 (保健体育)	8組担任	石博 啓乃 (数学)
8組副担任	井上 智也 (地歴・公民)	9組担任	加藤 健司 (地歴・公民)
9組副担任	福野 衣里子 (国語)		
年次所属	柘植 研一 (理科)		



3 年次団

◎年次主任 ○副年次主任

【後列右から】		【前列右から】	
1組副担任	日比野 良平 (理科)	1組担任	武藤 雅紀 (数学)
2組副担任	西尾 哲歩 (数学)	2組担任	森 有史 (理科)
3組副担任	田中 諭志 (数学)	3組担任	高橋 慎治 (地歴・公民)
4組副担任	伊藤 誠司 (理科)	4組担任	若岡 亮仁 (数学)
5組副担任	稲葉 由里子 (国語)	5組担任	棚橋 誉久 (理科)
6組副担任	小澤 奈津子 (保健体育)	年次主任	◎森 智子 (理科)
7組副担任	堀口 和人 (英語)	6組担任	及川 太郎 (理科)
8組副担任	大野 麻未 (英語)	7組担任	大谷 太一 (地歴・公民)
9組副担任	市原 英正 (保健体育)	8組担任	○若山 智也 (国語)
年次所属	高瀬 智子 (国語)	9組担任	大野 玲子 (英語)



はR日課

6月行事予定			7月行事予定		
日曜	行事		日曜	行事	
1日	3年第1回駿台全国模試(希望者)		1火	演劇ワークショップ(1年次2~6限5クラス) ▲於: 研研・大会議室 朝読書週間(〜7/7)	
2月			2水	演劇ワークショップ(1年次1~4限4クラス) 於: 研研・大会議室 前期教室ワックスがけ③ [5限月1]	
3火	[1年6限LHR(林間学舎)]		3木	体育大会種目決定(LHR)	
4水			4金		
5木	前期中間考査(〜6/10)		5土	1・2年進研記述模試	
6金	3年PTフォーラム PTA実行委員会③		6日	3年進研記述模試 1・2年進研記述模試(追試)	
7土			7月	合同応援練習(5限終了後) 動体⑤	
8日			8火		
9月	命を守る訓練②(考査後)		9水	熱中症対策講座 岐高だより[160号]発行	
10火	授業料等納付日 伝達表彰・壮行会		10木	授業料等納付日 三者懇談会(午後、〜7/16) ▲1年次集会(林間学舎)、3年次集会(運動場) デジタル人材育成プログラム(〜7/11) [60分 木456]	
11水	休業日		11金	スクールカウンセリング④ ▼[60分 金145]	
12木	授業公開月間(〜7/7) 県いじめアンケート① 校内迷惑調査①		12土		
13金	命の尊さ講話(PM) [金345]		13日		
14土			14月	[60分 月345]	
15日	名大ブレ		15火	献血、防災講座 [60分 火456(1年3限LHR)]	
16月	1年進路意識調査 動体④		16水	▼[60分 水145]	
17火	3年進路意識調査		17木	大掃除・終業行事・伝達表彰・ 壮行会(34限) [50分 木12]	
18水	演劇ワークショップ(1年次2~5限4クラス) 2年進路意識調査		18金	夏季休業(〜8/22) 2年夏季補習(AM) ▲3年夏季補習(AM) (〜7/25)	
19木	演劇ワークショップ(1年次1~5限5クラス)		19土	東大ブレ	
20金			20日	東大ブレ	
21土	PTA林間学舎奉仕活動		21月	〈海の日〉	
22日			22火	▲1年林間学舎活動(〜8/1)	
23月	前期教室ワックスがけ① デジタル人材育成プログラム(5・6限) [50分 月2345]		23水	小学生のための高校見学会	
24火	[1年6限LHR(林間学舎)]		24木	高校見学会	
25水			25金	▼高校見学会	
26木	1年応援練習(多目的・6限終了後)		26土		
27金	前期教室ワックスがけ③ 職業学習体験プログラム(地域医療)・ 3年医学部ガイダンス(放課後)		27日	3年第2回全統共通テスト模試 京大ブレ	
28土			28月		
29日			29火		
30月	スクールカウンセリング③ SOSの出し方教育(6限) [50分 6限 水5月5234]		30水		
			31木		
備考	学習相談会 林間学舎事前健康調査・健康相談		備考	基礎講座 林間学舎健康相談	

今後予定が変更されることもあります。



●部活動だより● 部活加入一覧



(令和7年4月15日現在)

部名	顧問	所属生徒数							
		男子				女子			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
硬式野球	八代 伊藤(翼) 若山 五島	11	6	12	29	1	1	3	5
陸上競技	今井 小澤 伊藤(人)	13	7	6	26	3	7	2	12
サッカー	柘植(望) 田口 高橋(河井 大熊)	15	21	15	51	0	3	0	3
バレーボール	覚田 古川(真) (岩倉) 市原 鈴木(規)	10	8	5	23	18	9	6	33
バスケットボール	若岡 大谷 瀬川 折山(小川)	10	11	7	28	6	5	10	21
ソフトテニス	青谷(勇) 堀口 松井	7	9	3	19	3	4	3	10
水球	鈴木(裕) 前田	2	5	2	9	2	4	0	6
卓球	塩澤 古橋 高瀬(山崎)	13	9	10	32	3	6	6	15
バドミントン	武藤(雅) 棚橋 各務 川村(桑坪)	13	9	16	38	6	9	11	26
柔道	岩井 早藤(伊藤(司))	2	1	1	4	0	2	0	2
剣道	井上 柘植(研)	3	4	4	11	2	2	4	8
軟式野球	及川 武藤(恒)	3	8	13	24	0	1	3	4
テニス	伊藤(拓) 加藤(健) 田中 石川(丹羽)	15	21	15	51	3	14	9	26
ハンドボール	森本 平野(正田)	10	8	5	23	0	2	0	2
体育系合計		127	127	114	368	47	69	57	173

部名	顧問	所属生徒数							
		男子				女子			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
美術	谷口 日置	2	1	3	6	6	5	8	19
書道	筑間 稲葉	1	1	2	4	11	9	11	31
演劇	水谷 山崎	0	4	2	6	3	3	5	11
音楽	阿部 北川	8	5	6	19	6	12	9	27
文芸	福野 木野村	0	1	0	1	1	3	2	6
茶華道	石博 大野(麻) (横井) (井上)	0	0	0	0	5	6	4	15
自然科学	日比野(昭雄(研)) (園部) 太田 透藤(慶福) (中村) 斎(南)	24	22	29	75	11	8	15	34
E.S	S 岸本 森(智)	2	1	2	5	16	11	13	40
調理	小林	1	0	0	1	9	17	8	34
写真	真村 橋 尾関	1	1	5	7	5	12	4	21
囲碁・将棋	井深 伊藤(司)	10	7	8	25	1	1	3	5
吹奏楽	白木 西尾 坂田(尾家)	7	4	7	18	17	18	7	42
クイズ研究	澤田 大野	12	13	8	33	6	0	5	11
文化系合計		68	60	72	200	97	105	94	296

局名	顧問	所属生徒数							
		男子				女子			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
図書	青谷(直) 稲葉	0	7	6	13	7	7	13	27
放送	村橋 小澤 鈴木(規)	0	5	4	9	3	6	2	11
チア	福野 木野村	0	0	0	0	13	8	12	33
局合計		0	12	10	22	23	21	27	71

転入

後列右から
英語 大野 麻美
事務部 (筑波大学院研修より復帰) 吉田 佳奈
養護教諭 (環境生活部統計課) 早藤 麻由美
地歴・公民 (海津明誠高等学校) 井上 智也
理科 (育児休業から復帰) 平野 弘
英語 (加茂高等学校) 鈴木 規比
前列右から
数学 坂田 瞬
数学 西尾 哲歩
数学 (各務原高等学校) 田内 俊文
教頭 (岐阜城北高等学校教頭) 小野 悟
校長 (大垣北高等学校校長) 小野 和也
事務部長 (岐阜農林高等学校事務部長) 折山 真生
地歴・公民 (大垣南高等学校) 松井 裕子
国語 (岐阜総合学園高等学校)



転出

校長 石田 達也
事務部長 小野寺 彰
教頭 笠原 常豊
国語 藤吉 真理子
地歴・公民 (大垣西高等学校) 北川 英治
地歴・公民 (大垣南高等学校) 安田 翔
数学 (市立岐阜商業高等学校) 早水 寛幸
数学 (中津高等学校) 北川 幸久
理科 (岐阜総合学園高等学校) 黒井 昌和
英語 (岐阜総合学園高等学校) 伊藤 正剛
英語 (岐阜総合学園高等学校) 小池 春陽
養護教諭 (岐阜総合学園高等学校) 篠田 小夏
事務部 (岐阜城北高等学校) 赤塚 直毅